

沈黙の愛(八〇三)

原作脚本者 沈黙の愛(八三三卷) 帝ネ現映畫 由山内英十
監督者 立川八重子 調演者 小村莊十二
撮影者 立花幹也 主演者 鈴木重也
紹介 「マダムX」の翻案である。徒らにピストルを弄ぶ輩の登場する非現実さ。いふよりもバタ臭さを洗ひ切れないかたこそ、ラストの高調感を忘れた點を除けば先づ無難な構成である。
マダムXは法廷で「母」と知らずして辯護する子の至誠に泣かされたが、これはその法廷の代りに、不良な叔父の悔悟と母の臨終と、父親の慚愧などが、殺人の現場に新派悲劇の大團圓的な結末をつけたために、折角「お涙真殻」を「失笑」に代えてしまつたのである。
新人木村莊十二、その映畫的感覺に、未來を嘱咐することは出来ないが、到底この作品は「未完成」たるところを免れない。必要以上の暗闇明の濁濃だけでも済まされぬのであらう。
併しでは、歌川八重子と高島登。それに手塚に扮した遠川辰夫が、少し誇張されてゐるが一寸面白い悪役の型を示した。——鈴木重三郎一行で、涙映画であるけれども、決して